

数 学 A 学 習 指 導 案					
日・時	平成22年6月1日(火) 第1限			指導者	
学年・組	2年7組	教室	243教室	教科書	新編 数学A(啓林館)
単 元	第1章 個数の処理				
指 導 目 標	1 集合の要素の個数について成り立つ性質と場合の数の計算方法として、和の法則と積の法則を理解させる。 2 順列、組合せに関する基本公式を理解させると同時に、具体的な問題でその使い方を習熟させる。	指 導 計 画	第2節 場合の数 1 場合の数 2 順列 3 円順列・重複順列(本時はその1) 4 組合せ 5 二項定理		
本時の主題	円順列と重複順列				
前時の課題	課題プリントを解いておく。				
目 標	1 円順列の意味を理解し、解法を理解させる。 2 重複順列の意味を理解し、解法を理解させる。				
指 導 過 程	指 導 内 容		時間	指導上の留意点	資料・教具・評価の観点等
	導 入	1 前時の課題の解答 2 本時の目標の確認	5	・既習事項の内容について復習・確認をさせる。	・復習の内容から本時の内容につなげる。 <関心・意欲・態度>
	展 開	1 円順列の公式を導く。	10	・具体的な数で計算させる。 ・回転させると同じ並び方になることに気付かせる。	・既知の順列の計算を基にして、円順列を考えることができる。 <数学的な見方や考え方>
		2 問23を解かせる。	10	・円順列の公式が正しく使えるように指導する。	・公式を正しく使えることができる。<表現・処理>
		3 重複順列の公式を導く。	10	・同じものを使ってもよいことに気付かせる。	・積の法則を基にして、重複順列を考えることができる。 <数学的な見方や考え方>
	整 理	4 問24を解かせる。	10	・重複順列の公式が正しく使えるように指導する。	・公式を正しく使えることができる。<表現・処理>
1 本時のまとめ 2 次時の予告		5	・本時の内容が理解できているかを確認させる。	・円順列・重複順列について理解している。 <知識・理解>	
次時の課題	問題集「ネオパル数学A」p12、13の18a、19aを解いてくる。				
	商業科 I型 生徒数42名				